

2023年12月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2023年11月9日

上場会社名 初穂商事株式会社

上場取引所 東

コード番号 7425 URL <https://www.hatsuho.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 斎藤 悟

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営管理室長

(氏名) 成田 哲人

TEL 052-222-1066

四半期報告書提出予定日 2023年11月13日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年12月期第3四半期の連結業績(2023年1月1日~2023年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年12月期第3四半期	24,984	6.9	1,090	8.4	1,198	6.4	703	10.1
2022年12月期第3四半期	23,372	6.9	1,005	97.9	1,126	72.3	639	92.9

(注) 包括利益 2023年12月期第3四半期 789百万円 (7.8%) 2022年12月期第3四半期 732百万円 (74.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年12月期第3四半期	429.37	
2022年12月期第3四半期	390.59	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年12月期第3四半期	21,062	9,405	39.7
2022年12月期	21,109	8,768	36.8

(参考) 自己資本 2023年12月期第3四半期 8,371百万円 2022年12月期 7,778百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2022年12月期	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年12月期		0.00		80.00	80.00
2023年12月期(予想)				100.00	100.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年12月期の連結業績予想(2023年1月1日~2023年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	33,600	5.7	1,410	9.5	1,530	6.9	890	4.1	543.27

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年12月期3Q	1,740,330 株	2022年12月期	1,740,330 株
期末自己株式数	2023年12月期3Q	98,104 株	2022年12月期	103,745 株
期中平均株式数(四半期累計)	2023年12月期3Q	1,639,418 株	2022年12月期3Q	1,636,585 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症にかかる、行動制限の大幅な緩和とウィズコロナの下で社会経済活動の正常化に向けた動きが進み、景気は穏やかに回復いたしました。一方で、ロシア・ウクライナ情勢の長期化、不安定な為替相場や世界的な金融引締めに伴う景気後退リスクが懸念されております。

建設業界におきましては、公共投資においては堅調に推移しております。民間投資におきましては、住宅建設は底堅い動きとなっており、首都圏のマンション総販売戸数は横ばいで推移しております。また、鋼材等の原材料価格は高止まりしておりますが、安定した企業収益等を背景に、設備投資の需要は持ち直しており、先行きについても持ち直し傾向が続くことが期待されております。

このような経営環境の中、当社グループにおきましては、建設セグメントのビジネスに特化した建設資材商社のNo. 1を目指し、三本の事業の柱による多角的な成長戦略に取り組んで参りました。建設資材価格が前年より引き続き高止まりしていることに加え、価格競争が厳しいものとなっておりますが、全事業セグメントにおいて、積極的な受注活動を行って参りました。エクステリア事業及び住環境関連事業においては、人員体制強化に伴う人材採用や労務環境の改善により人件費など経費が増加したこともあり、利益を押し下げる要因となりましたが、内装建材事業においては、建設需要が持ち直しつつある中で、収益力の向上のため、仕入価格の相場変動に柔軟に対応した適正な販売価格を維持したことにより、エクステリア事業及び住環境関連事業の利益減少分を上回る好調な業績で推移し、当社グループの業績は前年同四半期比において増収増益となりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は、249億84百万円(前年同四半期比6.9%増)、営業利益10億90百万円(前年同四半期比8.4%増)、経常利益11億98百万円(前年同四半期比6.4%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益7億3百万円(前年同四半期比10.1%増)となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

(内装建材事業)

内装建材事業は、売上高は123億87百万円(前年同四半期比13.2%増)、営業利益は9億25百万円(前年同四半期比35.2%増)となりました。

当第3四半期連結累計期間においては、関東圏を中心に建設需要が回復傾向であり、仕入価格相場変動に柔軟に対応した適正な販売価格の維持を徹底したことにより、前年同四半期比において増収増益となりました。

(エクステリア事業)

エクステリア事業は、売上高は92億62百万円(前年同四半期比3.9%増)、営業利益は4億51百万円(前年同四半期比15.3%減)となりました。

当第3四半期連結累計期間においては、売上面においては、販売店向け記念キャンペーン等の営業活動の積極的な展開により、前年実績を上回り堅調に推移しております。一方で、人員体制強化に向けた積極的な人員拡充等による人件費の増加により、利益面においては減少しており、前年同四半期比において増収減益となりました。

(住環境関連事業)

住環境関連事業は、売上高は34億53百万円(前年同四半期比2.9%減)、営業利益は1億59百万円(前年同四半期比8.0%減)となりました。

当第3四半期連結累計期間においては、主にALC金具副資材の販売における中京圏の物流倉庫の建設需要の減退やALC建材の代替製品の普及から工事案件の受注が減少したこと及び人員体制強化に伴う人件費の増加等により、前年同四半期比において減収減益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は210億62百万円となり、前連結会計年度末に比べて47百万円減少いたしました。これは主に、現金及び預金が4億46百万円、受取手形及び売掛金が2億36百万円減少し、電子記録債権が1億35百万円、商品が37百万円、土地が3億25百万円、有形固定資産のその他が1億36百万円増加したことによるものであります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は116億56百万円となり、前連結会計年度末に比べて6億84百万円減少いたしました。これは主に、支払手形及び買掛金が5億26百万円、未払法人税等が2億17百万円、流動負債のその他が81百万円、役員退職慰労引当金が2億40百万円減少し、電子記録債務が78百万円、長期借入金が62百万円、固定負債のその他が2億19百万円増加したことによるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は94億5百万円となり、前連結会計年度末に比べて6億37百万円増加いたしました。これは主に、配当金の支払及び親会社株主に帰属する四半期純利益の計上等により利益剰余金が5億72百万円、非支配株主持分が44百万円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年12月期通期の業績予想につきましては、2023年2月14日に公表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想について修正しております。詳細につきましては、2023年7月27日公表の「第2四半期(累計)及び通期の業績予想並びに配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

[ご参考 2023年度(2023年12月期連結業績見通し)]

売上高	336億円
営業利益	14億10百万円
経常利益	15億30百万円
親会社株主に帰属する当期純利益	8億90百万円

(注) 上記連結業績見通しに関する注意事項

2023年度(2023年12月期)連結業績予想値は、現時点で入手可能な情報をもとに行った見通しであります。そのため、上記連結業績予想数値はこれらの要因の変動により大きく異なる場合があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,946,037	5,499,322
受取手形及び売掛金	6,791,896	6,555,769
電子記録債権	1,202,454	1,337,807
商品	1,388,709	1,425,870
その他	136,001	144,934
貸倒引当金	△1,353	△2,105
流動資産合計	15,463,746	14,961,597
固定資産		
有形固定資産		
土地	2,930,297	3,255,504
その他(純額)	849,837	986,833
有形固定資産合計	3,780,135	4,242,337
無形固定資産		
顧客関連資産	377,616	337,157
その他	20,894	22,812
無形固定資産合計	398,510	359,970
投資その他の資産		
その他	1,514,155	1,543,609
貸倒引当金	△46,749	△45,114
投資その他の資産合計	1,467,405	1,498,494
固定資産合計	5,646,051	6,100,802
資産合計	21,109,798	21,062,400
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,704,684	8,178,304
電子記録債務	890,847	969,535
短期借入金	370,000	370,000
1年内返済予定の長期借入金	366,680	371,704
未払法人税等	355,055	137,765
賞与引当金	184,599	199,301
その他	643,574	561,575
流動負債合計	11,515,441	10,788,184
固定負債		
長期借入金	262,557	325,437
役員退職慰労引当金	265,834	25,579
資産除去債務	26,596	26,741
その他	271,082	491,002
固定負債合計	826,071	868,760
負債合計	12,341,512	11,656,945

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	885,134	885,134
資本剰余金	1,316,174	1,324,253
利益剰余金	5,689,152	6,262,147
自己株式	△123,779	△117,315
株主資本合計	7,766,682	8,354,220
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	11,828	17,117
その他の包括利益累計額合計	11,828	17,117
非支配株主持分	989,774	1,034,117
純資産合計	8,768,285	9,405,455
負債純資産合計	21,109,798	21,062,400

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)
売上高	23,372,159	24,984,806
売上原価	19,105,252	20,423,717
売上総利益	4,266,906	4,561,088
販売費及び一般管理費	3,261,488	3,470,787
営業利益	1,005,418	1,090,301
営業外収益		
受取利息	2,506	2,548
受取配当金	1,425	1,723
仕入割引	74,693	80,129
投資有価証券売却益	6,500	1,618
その他	40,235	26,736
営業外収益合計	125,361	112,757
営業外費用		
支払利息	2,633	2,396
賃貸費用	853	1,191
その他	828	1,197
営業外費用合計	4,315	4,785
経常利益	1,126,463	1,198,273
税金等調整前四半期純利益	1,126,463	1,198,273
法人税、住民税及び事業税	404,134	363,756
法人税等調整額	△12,758	49,651
法人税等合計	391,375	413,408
四半期純利益	735,087	784,864
非支配株主に帰属する四半期純利益	95,853	80,942
親会社株主に帰属する四半期純利益	639,233	703,922

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益	735,087	784,864
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2,135	4,949
その他の包括利益合計	△2,135	4,949
四半期包括利益	732,952	789,814
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	638,529	709,211
非支配株主に係る四半期包括利益	94,422	80,602

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(役員退職慰労金制度の廃止)

当社は、2023年3月28日開催の第65回定時株主総会において、役員退職慰労金制度の廃止に伴う退職慰労金の打ち切り支給を決議いたしました。これに伴い、当社にて計上しておりました「役員退職慰労引当金」154,022千円を取り崩し、「長期未払金」として固定負債の「その他」に含めて表示しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自2022年1月1日至2022年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計
	内装建材事業	エクステリア事業	住環境関連事業	
売上高				
顧客との契約から生じる収益	10,940,547	8,876,308	3,555,303	23,372,159
外部顧客への売上高	10,940,547	8,876,308	3,555,303	23,372,159
セグメント間の内部売上高又は振替高	-	42,233	-	42,233
計	10,940,547	8,918,542	3,555,303	23,414,392
セグメント利益	684,619	532,640	172,767	1,390,028

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,390,028
全社費用(注)	△384,610
四半期連結損益計算書の営業利益	1,005,418

(注) 全社費用は、報告セグメントに帰属しない当社の管理部門にかかる費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自2023年1月1日至2023年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計
	内装建材事業	エクステリア事業	住環境関連事業	
売上高				
顧客との契約から生じる収益	12,387,629	9,143,710	3,453,467	24,984,806
外部顧客への売上高	12,387,629	9,143,710	3,453,467	24,984,806
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	118,802	—	118,802
計	12,387,629	9,262,512	3,453,467	25,103,609
セグメント利益	925,847	451,263	159,000	1,536,110

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,536,110
全社費用(注)	△445,808
四半期連結損益計算書の営業利益	1,090,301

(注) 全社費用は、報告セグメントに帰属しない当社の管理部門にかかる費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。